

踊り手ら819人コロナ感染、徳島市長「阿波おどりを要因とするのは違う」

2021/09/29 読売新聞



徳島市の内藤佐和子市長

徳島市で8月に開催された阿波おどりに出演した踊り手ら819人の新型コロナウイルス感染が確認されたことについて、内藤佐和子市長は28日、「阿波おどりを要因とするのは違う」との認識を示した。

市などで行う実行委員会は各連へのアンケートを実施。前夜祭が行われた8月11日から経過観察期間の同25日までに、回答を寄せた連で出演したおよそ4人に1人がコロナに感染したとの調査結果を公表した。

内藤市長は28日の定例記者会見で、「お盆期間を過ぎたあたりから感染者数が増加しているのは、全国的な推移と同じ傾向だ」と指摘。感染経路について、「踊っていた時なのか家族から感染したのか、帰省した人からか、全てが阿波おどりかどうかは確認しようがない」と述べた。

また、多くの連が感染対策を徹底したと回答した一方、控室の利用を避けたり、食事でマスクを外している間は会話を極力控えたりするといった対策ができていないとの回答が一定数あった点については、「控室が『密』であるなど踊り手から聞いた改善点を来年に生かしたい」と話した。

徳島・阿波おどり、踊り手の4分の1がコロナ感染…マスク外し声出して参加

2021/09/23 読売新聞

徳島市で8月12～15日に開催された阿波おどりで、市などで行う実行委員会は22日、踊り手グループにアンケートを実施した結果、回答した参加者の23.9%にあたる819人が新型コロナウイルスに感染していたことを明らかにした。

徳島・阿波おどり、踊り手の4分の1がコロナ感染…マスク外し声出して参加

力強い男踊りを披露する踊り手ら（8月12日、徳島市で）



力強い男踊りを披露する踊り手ら（8月12日、徳島市）

実行委は参加した123グループにアンケートを実施し、7割にあたる86グループから回答があった。その結果、参加者3425人（推計）のうち、前夜祭の8月11日から経過観察期間の25日までに感染が確認された人は819人に上った。1日あたりの感染判明者数が最多だったのは、17日で220人だった。

今夏は3年ぶりに屋外に演舞場を設けて開催され、実行委は観客の座席数をコロナ禍前の75%に抑制するなど感染防止策を講じていた。一方、参加者はマスクを外して声を出しながら踊るなどしており、こうした状況が感染拡大の要因になったとの指摘がある。